平成２８年６月　第１回これからの防災と財政を考える調査特別委員会

平成２８年　６月１５日（水）

○議事日程

（１）正副委員長の互選について
（２）主な調査事項について
（３）次回開催日程について
（４）その他

○出席委員

委員長	９番	川　上　絹　子　君	副委員長	８番	村　上　忠　弘　君
	１番	岸　　徹　也　君		２番	小　川　ひとみ　君
	３番	加　藤　三　明　君		４番	向　井　孝　一　君
	５番	芳　賀　芳　夫　君		６番	徳　田　栄　邦　君
	７番	日　置　紳　一　君		１０番	山　崎　　仁　　君
	１１番	上　村　義　雄　君		(議　長	村　瀬　　廣　　君)

○欠席委員（０名）

○出席事務局職員

議会事務局長	成　田　光　康　君
議会事務局係長	佐　藤　直　樹　君

開議　１５時００分

○議会事務局長（成田光康君）
　本特別委員会は議長を除く１１名で構成される委員会で、本日が第１回目の開催となりますので、委員長が決まるまでの間、委員会条例第８条第２項の規定により、出席議員の中で年長の委員が互選に関する職務を行うこととなっております。年長委員の徳田委員をご紹介いたします。徳田委員、前の席に方にお着き願います。

○年長委員（徳田栄邦君）　只今、ご紹介いただきました、一番年寄の徳田でございます。委員長の互選が終わるまで、進行させていただきますので、よろしくお願いしたいと思います。
　◎開会の宣告
○仮委員長（徳田栄邦君）　只今の出席委員は１１名で定足数に達しておりますので、これから第１回これからの防災と財政を考える調査特別委員会を開催いたします。

　議事に入ります。
　正副委員長の互選についてを議題といたします。
　始めに委員長の互選を行います。委員長の互選については、どのような方法で進めたらよろしいでしょうか。
　日置委員。
○７番（日置紳一君）　推薦で。
○仮委員長（徳田栄邦君）　只今、日置委員より推薦でということがありました。これに対して皆様からご異議ございませんか。
　（異議なしの声あり）
　異議なしの声がございましたので、推薦といたしたいと思います。それではどなたを推薦するか皆さん方からご意見をいただきたいと思います。
　日置君。
○７番（日置紳一君）　委員長に川上委員を推薦いたします。
○仮委員長（徳田栄邦君）　只今、日置委員より川上委員を委員長に推薦したいというご発議がございました。これに対して、ご異議ございませんでしょうか。なければ川上委員を委員長に決定したいと思いますけれどもよろしゅうございますか。異議がないので川上委員を委員長に決定いたします。これよりの進行については、川上委員長にお任せいたしますので、委員長を交代いたします。ご協力ありがとうございました。
○委員長（川上絹子君）　それでは財政の関係で委員長ということで、これからの防災と財政を考える調査特別委員会の委員長をおおせつかりました。皆さんの意見が取りまとめられるように、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。

それでは引き続き、副委員長の互選を行います。委員の皆様から推薦をお願いいたします。

芳賀委員。

○５番（芳賀芳夫君）　この特別委員会については、前回は両常任委員長が正副、今回も向井委員の方にお願いしたいなと思います。

徳田委員。

○６番（徳田栄邦君）

少なくとも決まったことには従う義務っていうのは議員にはありますけれども、設置に対して一応反対の意思表示をしているんですから、そういう人を副委員長にするっていうことは私はまずいと思うんですけど。少なくともう少し議論を重ねた中でそういう意見が出てくるんであれば別ですけども、最初っから設置に反対の人を副委員長にするってことは私は納得できません。

○委員長（川上絹子君）　先程、反対意見だった人は何でだったんですか。

上村委員。

○１１番（上村義雄君）　徳田委員が言われたことも最もだというふうに私も理解いたします。ただ、いま言うように常任委員会は所管のあれでは２つ委員会しかないので、委員長はあれだけれども、副委員長が特別委員会の任に当たるということで副委員長が、この産業教育の副委員長が特別委員会の副委員長ということで推薦したいと思いますが、了承願えればそのようにお願いしたいと思います。

○委員長（川上絹子君）　上村委員から産業教育の副委員長である村上委員を推薦したいという意見が出ていますがどうでしょうか。

（異議なしの声あり）

それでは意義がないということで、村上委員を副委員長として決定してもよろしいですか。

（異議なしの声あり）

意義がないので、村上委員を副委員長で決定いたします。

次に、議題に主な調査事項についてを議題といたします。

本委員会の調査事項の大きな柱、防災計画の実施状況等の点検並びに公共施設の耐震化を含めて、防災対策の推進には多額の費用を要しますので、将来的な町財政運営についてですが、具体的な調査事項について皆様の意見をいただきたいと思います。何かありませんか。

○６番（徳田栄邦君）　特別委員会というのは、調査特別委員会ですから、それなりに調査項目というのはきちんと立てなければならないのが基本でございます。しかしながら、あまりにも掲げる調査事項というのは幅の広い物でありますので、取りあえず調査項目をこの程度にしておいて、これにとらわれないでもっと大きく、これからの町の将来に向かっての色んなことを、この委員会の中で話せればと思って、そういう意味で私は設置に賛成しましたので、その辺でまとめていただきたいと思います。

○委員長（川上絹子君）　分かりました。
　山崎委員。
○１０番（山崎　仁君）　具体的な調査事項を持たなければ、これからの進め方が難しくなるというふうに思うんですよ。具体的な取り組みはどうなのかっていったら、例えば防災計画の状況の説明をいただくと。防災計画、皆さんいただいているけども、内容の説明はほとんどないですから、今金の防災ってどうなっているのかっていうのが１つと、それからたまたま、今回、全道議員研修に防災センターに行くっていうのも、これだって位置付けとしては防災ということを体験してくるのは意味のあることだと思う。それから先日、耐震について道がセミナーを開くっていうことを新聞報道で知りました。全道１４ヶ所でやる。檜山振興局・渡島総合振興局でセミナー、例えばですけどそういうのを聴講するだとか、それぞれ具体的な例を挙げれば出てくると思うんですよ。年内に総合管理計画を出したいということですから、それまでに向けて私たちの防災とはどういうことか、それから財政については管理計画が出てくればどのくらいの建物がどのくらいの金がかかるのかが出てくる。あると思うんです。そういう管理計画を立てているところがもしあれば見せていただくだとか、そういう具体の例でそういうことを調査事項にまずしておくことはいかがですか。
○委員長（川上絹子君）　いま、徳田委員と山崎委員から意見が出ましたけれども、皆さん、他に何かありますか。
　上村委員。
○１１番（上村義雄君）　町の部分での要するに財政的な部分が絡んでくる訳です。前回のあれの中でもって福島町の修復したところのやつを提案した訳でありますけれども、それのあわせて徳田委員が福島町でもって講師を呼んで財政的にこれからの建物等の維持管理にどういう方向性があるかっていうことを講師を招いてやった事例があるんで、この特別委員会でもそういう講師を招いて財政の在り方、それから建物の状況のどうすることが、今後の部分で大切かっていうようなことを、私たちも勉強した方が良いのかなというふうに思うので、そういうようなことも、この特別委員会の中に入れ込んで調査研究をしていくということも必要かなというふうに思います。
○委員長（川上絹子君）　大まかな意見が、大体全ての物が含まれたような意見がたくさん出ましたので、時間も限られていますので調査事項につきましては、只今、委員の皆様から出された意見を基に精査させていただきたいと思いますが。よろしくお願いします。よろしいですか。
　最後に、次回の開催日程を議題とします。
　次回委員会の開催日程を、いつ頃予定したら良いと思いますか。
○６番（徳田栄邦君）　いま、山崎委員が言ったように、札幌市の防災センターへ行って色々体験してくるわけですから、それのあとが良いんじゃないですか。ですからその辺のところを踏まえて、あと日程については、委員長と事務局、副委員長で相

談して決めてください。
○委員長（川上絹子君）　ありがとうございます。
○１０番（山崎　仁君）　いまの視察、例えば特別委員会の視察になる。それともあくまでの議員会の行事という。特別委員会という立場で見てくるということにすると、調査報告の中にはちゃんと実際、防災センターに行ってきましたっていうのも出てくるから。そういう取り扱いができるかどうか。
○事務局長（成田光康君）　議員の派遣として今回、議運にも全てかかっていますし、もうできていますので、中身的には議員研修として防災センターを見ましたよっていう形ですので、特別委員会云々よりは全体的な議員としての網羅をしているということで解釈していただければ良いのかなと思いますので。
○６番（徳田栄邦君）　そういうふうにしましょう。
○委員長（川上絹子君）　それでは、いま意見が出ましたので、防災センターを見たあとに、それからまた日程を決めるという形にしたいと思います。なお、詳細については正副委員長と事務局で調整の上、決定することとなりますがよろしいですか。それではそのようにいたします。そのほか何かありますか。

◎閉会の宣告

○委員長（川上絹子君）　それでは以上で本日の特別委員会を閉会いたします。
ご苦労様でした。

閉会　１５時１６分

署名委員

平成２８年　６月１５日

委　員　長